

(取材依頼) チーム沖縄の水道の力をサモアへ！

自治体の枠を超えて県全域で実施した 3 年間のサモアへの 水道協力プロジェクトの最終成果報告会を開催！

サモアでは、水道管の未整備や漏水の調査技術などで、安定的な水道事業の運営が課題となっています。「サモアの 2 つの給水地域に安全な水が安定的に供給される体制が構築される」ことを目標に、2021 年 10 月～2025 年 1 月の 3 年 3 か月、JICA 技術協力プロジェクト「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト・フェーズ 2」を実施し、沖縄県出身で元名護市環境水道部長の金城進さんがプロジェクトリーダーを務め、配水管理や漏水探知、施工管理の能力向上を通じた課題改善に向けて、現地における技術指導や沖縄における研修を実施してきました。

プロジェクトにおいては、沖縄県内の水道事業者（沖縄県企業局、名護市環境水道部、名護市管工事組合、那覇市上下水道局）から短期専門家として延べ 11 名がサモアに渡航し、各派遣期間（約 1 か月）で現地における技術指導を行いました。また、サモア水道公社職員の沖縄における研修では、上記自治体に加えて、沖縄市上下水道局、沖縄市管工事組合、浦添市上下水道部、大宜味村建設環境課、今帰仁村水道課、南部水道企業団、石垣市水道部、竹富町上下水道課、宮古島市水道部、NPO 沖縄 BlueWater が協力し研修を担当し、沖縄においてどのように安全で美味しい水を、安定的に供給しているのかを学びました。

沖縄県内の自治体の垣根を超えて、チーム沖縄としてサモアの水道改善に取り組んだ結果、プロジェクト対象地区の無収水（料金徴収に繋がらない、無駄にしている水）の削減に繋がり、サモア内で技術を継承していくための内部研修体制も整いました。

それら活動と成果をご報告させていただく場として、以下報告会を開催いたします。
是非取材いただたく、よろしくお願いいたします。

【概要】

- ・報告会名：沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト フェーズ 2 (CEPS02)
最終成果報告会
- ・日時：2025 年 2 月 18 日（火）14:00～17:00
- ・場所：JICA 沖縄 ニライホール 3 階
- ・内容：①プロジェクト活動報告、②短期専門家による活動報告（沖縄県、名護市）、
③国別研修成果報告、等
- ・出席者：金城進氏（元名護市環境水道部/プロジェクトチーフアドバイザー）
沖縄県内自治体（沖縄県企業局、名護市環境水道部、那覇市上下水道部、石垣市水道部、等）、JICA およびプロジェクト関係者
- ・お問合せ先：JICA 沖縄研修業務課 松原真穂（098-876-6000/ Matsubara.Maho@jica.go.jp）